

4. プロジェクト研究 (11:10~12:00)

「クローン病の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 樋渡信夫

- (1) クローン病の診断基準, 治療指針の改訂
○樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター)
- (2) クローン病の長期予後
○樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター), 織内竜生, 木内喜孝, 下瀬川 徹 (東北大消化器病態学)
- (3) 抗菌薬が奏効したCrohn病併発腸腰筋膿瘍の1例
金城福則, ○豊見山良作, 又吉亮二, 久貝雪野, 州鎌理知子, 半仁田慎一, 砂川 隆, 与那嶺吉正, 外間 昭, 斎藤 厚 (琉球大1内)

幹事会・昼食 (12:00~13:00)

5. プロジェクト研究 (13:00~13:30)

「新治療法を開発する」

責任者: 下山 孝

- (1) 抗IP-10抗体による炎症性腸疾患治療の試み
○鈴木健司, 米山博之, 摺木陽久, 佐々木俊哉, 渡辺史郎, 河内祐介, 杉村一仁, 朝倉 均 (新潟大3内), 成見正作, 松島綱治 (東京大分子予防医学)
- (2) デキストラン硫酸誘発大腸炎に対する肝細胞増殖因子の治療効果に関する検討
坪内博仁, ○田原良博, 井戸章雄, 宮田義史, 山本章二郎 (宮崎医大2内)
- (3) 粘膜上皮再生を目指した新しい炎症性腸疾患治療法の開発
○日比紀文 (慶應大内科)

6. プロジェクト研究 (13:30~13:40)

「消化管機能改善, 環境改善を考える - 食品・その他 -」

責任者: 下山 孝

- (1) クローン病の難治性大腸潰瘍に対する高圧酸素療法
○牧山和也, 磯本 一 (長崎大光学医療診療部)

7. プロジェクト研究 (13:40~14:50)

「UC難治例の大腸切除の適応を定める」

責任者: 名川弘一

- (1) 一期的J型回腸のう肛門吻合術症例の検討
山村武平, ○池内浩基, 野田雅史, 柳 秀憲 (兵庫医大2外)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の試み
亀岡信悟, ○板橋道朗, 斉藤 登, 小川真平, 呉 兆礼 (東京女子医大2外), 飯塚文瑛, 林 直諒 (同 消化器内科)
- (3) Pouchitis症例の検討
○藤井久男 (奈良県立医大中央内視鏡部), 石川博文, 小山文一, 杉森志穂, 向川智英, 松本 寛 (同1外), 千田俊雄, 岡村 登 (東京医科歯科大保健衛生)
- (4) 当科における潰瘍性大腸炎術後回腸囊炎の治療について
○飯合恒夫, 須田武保, 谷達夫, 岡本春彦, 畠山勝義 (新潟大1外)
- (5) Crohn病に対する手術適応と手術時期
○杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター難病医療センター), 山崎安信, 木村英明,

- 嶋田 紘 (横浜市大2外), 小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科)
- (6) クロウン病の肛門部病変に対するクシャラ・ストラによる治療成績
松本譽之, 神野良男, 澤 禎徳, 川島大知, 大橋龍太, 橋川 誠,
中村志郎, 押谷伸英, (大阪市大3内), 前田 清, 平川弘聖 (同1外), 北野厚生 (東住吉森本病院),
○西口幸雄 (大阪市立総合医療センター外科)
- (7) クロウン病の肛門部病変に対する人工肛門造設の効果
○小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科)

コーヒーブレイク (14:50~15:00)

8. プロジェクト研究 (15:00~15:20)

「UC患者の癌とdysplasiaを基準に, 癌のsurveillanceを確立する」

責任者: 名倉 宏

- (1) 潰瘍性大腸炎に合併する大腸癌およびdysplasiaの粘液形質
○加納恒久 (新潟大1病理, 同1外), 味岡洋一, 渡邊英伸 (同1病理)
- (2) 潰瘍性大腸炎に合併したdysplasiaにおけるSTn発現の検討
○後藤 啓, 高橋宏明, 有村佳昭, 今井浩三 (札幌医大1内)

9. プロジェクト研究 (15:20~15:50)

「IBD患者の食事内容の検討」

責任者: 古野純典

- (1) IBDの患者対照研究
○古野純典 (九大予防医学)
- (2) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究—追跡調査より—
○北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部, 同 消化器科), 横山巽子,
宇都宮利善, 小野ひろみ (同 臨床研究部), 林 篤, 田代博一,
大原 信 (同 消化器科)
- (3) 疫学が示唆するもの
○千葉満郎 (秋田大1内), 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院)

10. プロジェクト研究 (15:50~16:20)

「CD患者の適切な食事を検討し, 情報を患者に伝達する」

責任者: 高添正和

- 竣 経腸栄養療法時のビタミンK需要について
馬場忠雄, ○辻川知之, 安藤 朗, 佐々木雅也, 藤山佳秀 (滋賀医大2内)
- 桶 潰瘍性大腸炎患者の摂取食事のP・F・C比と摂取アミノ酸について
守田則一, 野崎良一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科),
○戸田信晴, 豊田裕輝子 (同 栄養科), 山田一隆, 高野正博 (同 外科),
衣笠哲史, 黒水丈二 (福岡高野病院外科)
- (3) IBD治療に於ける栄養介入のためのNSSの構築
○守田則一, 野崎良一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科), 戸田信晴, 豊田裕輝子 (同 栄養科),
山田一隆, 高野正博 (同 外科), 衣笠哲史,
黒水丈二 (福岡高野病院外科), 石川行美 (同 栄養科)

11. プロジェクト研究 (16:20～16:50)

「UCとCD患者のQOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者：櫻井俊弘

- (1) IBDQを用いたCrohn病患者QOLの縦断的評価
○櫻井俊弘, 松井敏幸, 八尾恒良(福岡大筑紫病院消化器科),
岩男 泰(慶應大内科), 橋本英樹(帝京大衛生学・公衆衛生学)
- (2) 潰瘍性大腸炎手術例の術後QOLの検討(長期予後)
○杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター難病医療センター),
山崎安信, 木村英明, 嶋田 紘(横浜市大2外),
小金井一隆, 福島恒夫(横浜市立市民病院外科)
- (3) ストーマ造設前のIBD患者にとってBody imageは重要か?
直腸癌患者に対するDynamic graciloplastyでの予備的検討
○吉岡和彦, 中野雅貴, 米倉康博, 岩本慈能, 越路みのり, 吉田 良(関西医大2外)

事務局連絡 (16:50～17:00)

懇親会 (17:00～)

平成13年7月11日(水)

III. 研究発表(続)

12. プロジェクト研究 (09:00～09:20)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で検討する」

責任者：田村和朗

- (1) 炎症性腸疾患感受性遺伝子の検討
○田村和朗(兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門),
指尾宏子, 古山順一(兵庫医大遺伝)
- (2) IBD上皮において特徴的な発現変化を認めたDMBT1遺伝子の検討
○米沢仁志, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 上野達也, 北山 卓, 西條文人,
佐々木 巖(東北大生体調節外科)

13. プロジェクト研究 (09:20～09:30)

「腸内細菌の病因論的検討を行う」

責任者：下山 孝

- (1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜から分離した大腸菌の細胞付着因子の検討
○岡村 登, 千田俊雄, 馬場千恵美, 岩崎梢子,
森田朋子(東京医科歯科大保健衛生), 岡村 孝(東京都立大塚病院外科),
松村徹也, 下山 孝(兵庫医大消化器内科)

14. プロジェクト研究 (09:30～10:00)

「CDの腸管内抗原と蛋白透過性亢進を検索する」

責任者：下山 孝

- (1) Crohn病におけるASCAの臨床的意義
○久部高司, 櫻井俊弘, 松井敏幸, 八尾恒良(福岡大筑紫病院消化器科)
- (2) クローン病の特異的血中抗体の検索

○福田能啓, 馬場裕子, 小坂 正, 堀 和敏, 田村和民, 里見匡迪,
下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

(3) 潰瘍性大腸炎病変粘膜におけるカベオラ関連蛋白発現の変化

馬場忠雄, ○安藤 朗, 五月女隆夫, 辻川知之, 佐々木雅也, 藤山佳秀 (滋賀医大2内),
佐藤春久 (洛和会丸太町病院)

15. プロジェクト研究 (10:00~11:40)

「UCとCDにおける免疫異常を検索する」

責任者: 日比紀文

(1) 炎症性腸疾患におけるNKT細胞の役割

○八木田旭邦, 丸山正二, 若杉慎司, 助川 寧 (近畿大腫瘍免疫等研究所), 工藤正俊 (同 消化器内科),
高添正和 (社保中央総合病院内科)

(2) IBDにおけるリンパ球に発現するケモカインレセプター (第一報)

○沖 元二 (東北大病理形態, 同 消化器病態学), 大谷明夫, 名倉 宏 (同 病理形態),
木内喜孝 (同 消化器病態学), 福島浩平 (同 生体調節外科)

(3) アセチル化を介した脂肪酸サイトカイン発現抑制機構の解明

○鈴木康夫 (千葉大2内), 星本相浩, 齋藤 康 (同 細胞治療学)

(4) 腸管粘膜浸潤IL-7レセプター陽性細胞移入による慢性大腸炎の惹起

渡辺 守, ○山崎元美, 岡田英理子, 松本智子, 大島 茂, 岡本隆一,
戸塚輝治, 金井隆典 (東京医科歯科大消化器代謝内科), 矢島知治,
日比紀文 (慶應大内科)

(5) 難治性潰瘍性大腸炎患者LPMCに対する抗MIF抗体の効果

○石黒 陽, 櫻庭裕史, 山形和史, 棟方昭博 (弘前大1内)

(6) DSS腸炎におけるTGF- β の役割

○櫻庭裕史, 石黒 陽, 山形和史, 棟方昭博 (弘前大1内),
仲根明夫 (同 細菌学)

(7) 過敏性腸症候群 (IBS) とクローン病-マクロファージの動態を中心に

○太田達郎 (東北大病理形態, 同 心療内科), 福土 審 (同 人間行動学),
大谷明夫, 名倉 宏 (同 病理形態)

(8) クローン病病態形成におけるTh1誘導機構の検討

○佐藤俊朗, 井上 詠, 岸 祐介, 高木英恵, 緒方晴彦, 岡沢 啓,
中澤 敦, 日比紀文 (慶應大内科),
金井隆典, 渡辺 守 (東京医科歯科大消化器代謝内科)

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成13年度第1回総会出席者名簿

2001年7月10日・11日

(参加164名)(敬称略)

主任研究者：下山 孝

分担研究者：馬場 忠雄(滋賀医大2内)，日比 紀文(慶應大内科)，棟方 昭博(弘前大1内)，
樋渡 信夫(仙台赤十字病院大腸疾患センター)，味岡 洋一(新潟大1病理)，
杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター)，櫻井 俊弘(福岡大筑紫病院消化器)，
牧山 和也(長崎大光学医療診療部)，金城 福則(琉球大1内)，
松本 營之(大阪市大免疫制御内科)，高添 正和(社保中央総合病院内科)，
福田 能啓(兵庫医大消化器内科)，北洞 哲治(国立大蔵臨床研究)，
守田 則一(大腸肛門病センター高野病院)，坪内 博仁(宮崎医大2内)，
八木田 旭邦(近畿大腫瘍免疫等研究所)，山村 武平(兵庫医大2外)，佐々木 巖(東北大1外)，
吉岡 和彦(関西医大2外)，名倉 宏(東北大病理)，藤井 久男(奈良県立医大内視鏡部)，
亀岡 信悟(東京女子医大2外)，岡村 登(東京医科歯科大保健衛生)，
古野 純典(九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員：田村 和朗(兵庫医大先端医学研究所)

他班よりの研究協力者：名川 弘一(東京大腫瘍外科)

評価委員：武藤 徹一郎(癌研究会附属病院)

厚生労働省：金谷 泰宏

他：有村 佳昭，後藤 啓(札幌医大1内)，蘆田 知史，高後 裕(旭川医大3内)，
石黒 陽，桜庭 裕文，阪本 十一，山形 和史(弘前大1内)，
澤田 俊夫，茂木 健太，鮫島 伸一(群馬県立がんセンター)，
千葉 満郎(秋田大1内)，織内 竜生(宮城県立がんセンター)，
大谷 明夫，太田 達郎，安藤 紀昭，沖 元二(東北大病理形態)，
福島 浩平，西條 文人，内藤 広郎，米澤 仁志(東北大生体調節外科)，
木内 喜孝(東北大消化器病態)，伴場 裕己(埼玉医大総合医療センター1内)，
太田 慎一(埼玉医大3内)，鈴木 康夫，吉村 直樹(千葉大2内)，
板橋 道朗(東京女子医大2外)，飯塚 文瑛(東京女子医大消化器)，
千田 俊雄，馬場 千恵美(東京医科歯科大保健衛生)，
渡辺 守，金井 隆典，山崎 元美，岩崎 梢子(東京医科歯科大内科)，
岩男 泰，長沼 誠，佐藤 俊朗，緒方 晴彦，井上 詠，一松 収，小池 祐司，
松岡 克善，前田 謙一(慶應大内科)，渡辺 聡明，畑 啓介(東京大腫瘍外科)，
小金井 一隆(横浜市民病院外科)，朝倉 均，鈴木 健司(新潟大3内)，
須田 武保，飯合 恒夫，丸山 聡(新潟大1外)，加納 恒久(新潟大1病理)，
岩本 真也(富山医科薬科大3内)，北村 和哉(金沢大1内)，
川上 和彦，深澤 貴子(浜松医大2外)，馬場 正三(浜松医大)，
辻川 知之，安藤 朗(滋賀医大2内)，西沼 亮(奈良医大1外)，
宮本 博行(和歌山県立赤十字血液センター)，北野 厚生(東住吉森本病院)，
石川 秀樹(大阪府立成人病センター内科)，中村 志郎(大阪市大免疫制御内科)，
西口 幸雄(大阪市立総合医療センター消化器内科)，助川 寧(近畿大学腫瘍免疫等研究所)，
岡田 裕之(岡山大1内)，天野 国幹(広島クリニック)，小林 雄一(愛媛大3内)，
竹下 宗範，松井 敏幸(福岡大筑紫病院消化器科)，戸田 信晴(高野病院)，
山本章二郎，宮田 義史，田原 良博，井戸 章雄(宮崎医大2内)，

又吉亮一, 豊見山良作, 与那嶺吉正, 砂川隆(琉球大1内),
土井秀典, 島ちか子, 竹中良則, 浦野敬治(日本抗体研究所),
横須賀秀人(エーザイ), 林治久, 平井亨(呉羽化学),
藤井克典(日清キョーリン), 牛山秀彦, 城風淳一, 柴田博, 鎮目泰正, 小川重雄,
栗山敏治(旭メディカル), 半場望未(医薬研究所),
曾我部孝行, 町川房市, 斎藤宏, 葛城肅典, 立川哲也(大塚製薬),
山田竜夫(PLR-4), 倉石多美子(中外製薬), 尾崎邦彦(田辺製薬),
菅谷葉子, 野口敬康, 陶陽, 高橋良樹(わかもと製薬),
小野美保, 田上智行, 中條剛具, 小野幸胤, 大野誠治,
江島智子(味の素), 梅澤努, 後藤英之, 早乙女正美, 榎本哲, 澤田和英,
古田和生, 中西真人(味の素ファルマ)
池内浩基(兵庫医大2外), 阪本尚正(兵庫医大衛生),
西上隆之(兵庫医大2病理), 指尾宏子(兵庫医大遺伝学),
里見匡迪, 田村和民, 澤田康史, 福井信, 堀和敏, 山本憲康, 日下剛,
應田義雄(兵庫医大消化器内科),

事務局: 宮本佳美, 長瀬和子, 田村裕子

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

平成13年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成13年12月25日(火)

開会 (09:00)

I. 主任研究者挨拶 (09:00~09:10) 下山 孝

II. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 (09:10~09:20)

III. 研究報告

1. プロジェクト研究 (09:20~09:40)

「UCとCDのデータベースを拡張充実し、両疾患研究に資する態勢をつくる」

責任者：名川弘一

(1) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究

○北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部, 同消化器科),
横山翼子, 宇都宮利善, 小野ひろみ (同臨床研究部),
大原 信, 林 篤, 田代博一 (同消化器科)

(2) IBDデータベースの管理・運営について

○名川弘一 (東京大腫瘍外科), 里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

責任者総括

2. プロジェクト研究 (09:40~10:00)

「CD患者の食事の実態を調査し、適切な食事内容を検討し情報を患者に伝達する」

責任者：古野純典

(1) 生活習慣要因と炎症性腸疾患に関する患者対照研究

○古野純典 (九州大予防医学), 高添正和 (社保中央総合病院内科),
福田能啓, 里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大消化器内科),
棟方昭博 (弘前大1内), 鈴木康夫 (千葉大2内),
坪内博仁 (宮崎医大2内), 澤田俊夫 (群馬県立がんセンター),
樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター), 馬場忠雄 (滋賀医大2内),
新津洋司郎 (札幌医大4内), 牧山和也 (長崎大光学医療診療部),
金城福則 (琉球大1内), 今井浩三 (札幌医大1内),
亀岡信悟 (東京女子医大2外), 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科),
阪本尚正 (兵庫医大衛生学)

(2) 炎症性腸疾患に関する情報提供の問題点

○高添正和 (社保中央総合病院内科), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科),
福田能啓 (兵庫医大消化器内科)

責任者総括

3. プロジェクト研究 (10:00～10:25)

「CDにおける食事脂肪の関与を確定する研究を完遂する」

責任者：馬場忠雄

(1) CD患者食事調査よりみる脂肪酸摂取とCDの栄養療法構築の寸察

○守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科),
戸田信晴 (同栄養科), 高野正博 (同外科)

(2) クロウン病における経口脂肪摂取と緩解維持

○福田能啓, 馬場裕子, 田村和民, 里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

(3) 活動期クローン病に対するエレンタール[®]単独と脂肪製剤併用エレンタール群の治療効果の比較検討

○馬場忠雄 (滋賀医大2内), 日比紀文 (慶應大内科),
棟方昭博 (弘前大1内), 樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター),
松本響之 (大阪市大3内), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科),
北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部), 福田能啓 (兵庫医大消化器内科),
鈴木康夫 (千葉大2内)

責任者総括

4. プロジェクト研究 (10:25～10:40)

「消化管機能改善, 環境改善を食品や嗜好の偏りの面から検討する」

責任者：馬場忠雄

(1) Prebiotics投与による腸内細菌環境改善作用が潰瘍性大腸炎におよぼす影響について

馬場忠雄, ○安藤 朗, 辻川知之, 佐々木雅也, 藤山佳秀 (滋賀医大2内)

責任者総括

5. プロジェクト研究 (10:40～11:05)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で, より多数例で検討する」

責任者：田村和朗

(1) Resistin like molecule beta (RELM-beta) の潰瘍性大腸炎における発現低下

○北山 卓, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 児山 香,
佐藤 俊, 小川 仁, 橋本明彦, 西條文人, 長尾宗紀,
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

(2) 炎症性腸疾患とCD14遺伝子多型の関連について

○尾花伸哉, 高橋成一, 木内喜孝, 下瀬川 徹 (東北大消化器病態学),
樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター)

(3) 炎症性腸疾患患者の疾患感受性遺伝子解析

○田村和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門),
指尾宏子, 古山順一 (同遺伝学)

責任者総括

コーヒーブレイク

6. プロジェクト研究 (11:10～11:35)

「病因としての腸内細菌を, 消化管に棲息する細菌相互の関連から検討する」

責任者：下山 孝

(1) IBDは異常腸内細菌叢により発症する生活習慣病と考えられる

○千葉満郎 (秋田大1内), 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科),

中村 彰 (秋田大医科学情報), 辻 啓介 (姫路工業大生活環境学),
原島恵美子 (実践女子大栄養指導研究室)

(2) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜細菌叢と大腸菌分離株の病原性についての検討

○岡村 登, 千田俊夫, 馬場千恵美 (東京医科歯科大保健衛生生体防御検査学), 福井 信,
下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

(3) 新しい腸管内細菌叢検索法の確立

○辨野義己, 坂本光央, 林 秀謙 (理化学研究所・微生物系統保存施設)

責任者総括

7. プロジェクト研究 (11:35～11:50)

「大腸を全摘出した患者に発生する pouchitis を腸内細菌の面から検討する」

責任者：下山 孝

(1) pouchitis 症例の糞便中細菌叢の検討 (第二報)

○藤井久男 (奈良県立医大中央内視鏡部),
石川博文, 小山文一, 向川智英, 土井新也, 島谷英彦 (同1外),
岡村 登, 千田俊夫 (東京医科歯科大保健衛生生体防御検査学)

責任者総括

昼食・幹事会

8. プロジェクト研究 (13:00～13:50)

「UCとCDにおける免疫異常・サイトカインを検索し, 病因を明らかにする」

責任者：日比紀文

(1) 炎症性腸疾患の炎症性細胞におけるケモカインレセプターの発現

○沖 元二 (東北大病理, 同内科病態学), 大谷明夫, 名倉 宏 (同病理),
木内喜孝, 下瀬川 徹 (同消化器病態学),
福島浩平, 佐々木 巖 (同生体調節外科)

(2) T細胞移入マウス大腸炎におけるケモカイン発現の検討

○北村和也, 向田直史 (金沢大がん研究所組織分子構築)

(3) Th1特異的転写因子T-betのクローン病病態への関与

○松岡克善, 井上 詠, 佐藤俊朗, 岸 祐介, 緒方晴彦, 石井裕正,
日比紀文 (慶應大内科), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科),
金井隆典, 渡辺 守 (東京医科歯科大消化・代謝内科)

(4) IBDにおけるNKT細胞の役割

○八木田旭邦, 丸山正二, 助川 寧 (近畿大腫瘍免疫等研究所),
工藤正俊 (同消化器内科), 高添正和 (社保中央総合病院内科)

(5) 潰瘍性大腸炎におけるCD56およびCD57陽性T細胞の検討

金城福則, ○砂川 隆, 与那嶺吉正, 外間 昭 (琉球大1内)

(6) クローン病における肉芽腫の免疫学的意義に関する研究

松本譽之, ○中村志郎, 神野良男, 澤 禎徳, 押谷伸英, 荒川哲男 (大阪市大3内),
前田 清, 西口幸雄, 平川弘聖 (同1外), 北野厚生 (東住吉森本病院),
大谷明夫, 名倉 宏 (東北大病理)

責任者総括

9. プロジェクト研究 (13:50～14:05)

「CD患者の腸管内抗原を確定し、粘膜の蛋白透過性亢進を検索する」

責任者：下山 孝

- (1) クローン病患者血清中のバクテリオファージで作製したランダムペプチド抗原に対する特異的抗体
○福田能啓, 田村和民, 里見匡迪, 小坂 正, 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

責任者総括

10. プロジェクト研究 (14:05～14:40)

「抗TNF- α 抗体, 抗IL-6抗体のCDに対する効果を新治療法として検討する」

「新治療法として, 腸粘膜再生を図るHGFなどの因子の有用性を検討する」

責任者：下山 孝

- (1) マウスクローン病モデルにおける抗OX40L抗体治療の試みー第二報
○戸塚輝治, 金井隆典, 山崎元美, 飯山稜一, 浦牛原幸治, 岡本隆一,
壇 直彰, 渡辺 守 (東京医科歯科大消化・代謝内科),
日比紀文 (慶應大内科), 八木田秀雄 (順天堂大免疫)
- (2) 慢性腸炎モデルMAIDS腸炎に対する抗IP-10抗体治療の検討
○鈴木健司, 米山博之, 河内祐介, 朝倉 均 (新潟大消化器内科)
- (3) 腸管傷害修復過程におけるTGF- β シグナリングSmad3の役割の検討
○鈴木康夫, 徳政敦子, 勝野達朗, 斎藤 康 (千葉大2内)
- (4) DSS誘発粘膜障害発症におけるTGF- β の抑制効果
棟方昭博, ○櫻庭裕史, 石黒 陽, 山形和史 (弘前大1内), 中根明夫 (同細菌学)
- (5) デキストラン硫酸誘発大腸炎に対する肝細胞増殖因子の治療効果に関する検討
坪内博仁, ○田原良博, 井戸彰雄, 宮田義史, 山本章二郎 (宮崎医大2内)

責任者総括

コーヒーブレイク

11. プロジェクト研究 (14:50～16:35)

「UC難治例の大腸切除の適応を, 新治療法を加味して新たに定める」(外科治療を含めて)

責任者：名川弘一

- (1) UC難治例の大腸切除の適応を定める
名川弘一, ○渡邊聡明 (東京大腫瘍外科), 山村武平 (兵庫医大2外), 亀岡信悟 (東京女子医大2外),
佐々木 巖 (東北大生体調節外科), 藤井久男 (奈良県立医大中央内視鏡部),
杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター), 澤田俊夫 (群馬県立がんセンター)
- (2) 潰瘍性大腸炎難治例に対する手術適応
○杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター),
山崎安信, 木村英明, 嶋田 紘 (横浜市大2外), 小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科)
- (3) 潰瘍性大腸炎難治例に対する手術例の検討
○橋本明彦, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 児山 香, 佐藤 俊, 小川 仁, 北山 卓,
西條文人, 長尾宗紀, 佐々木 巖 (東北大生体調節外科)
- (4) Pouchitisの診断基準と実態ーアンケート調査結果
○藤井久男 (奈良県立医大中央内視鏡部), 亀岡信悟 (東京女子医大2外), 佐々木 巖 (東北大生体調節外科),
杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター), 名川弘一 (東京大腫瘍外科),
畠山勝義 (新潟大1外), 山村武平 (兵庫医大2外), 吉岡和彦 (関西医大2外)
- (5) 1期的IAA術後の臨床的排便機能と括約筋機能評価

山村武平, ○池内浩基, 柳 秀憲, 野田雅史 (兵庫医大2外)

(6) UCに対する腹腔鏡下手術の現状

○亀岡信悟, ○板橋道朗 (東京女子医大2外), 林 直諒, 飯塚文瑛 (同消化器内科)

(7) 回腸J-pouchと結腸J-pouchの解剖学的比較検討

○吉岡和彦, 中野雅貴, 米倉康博, 岩本慈能, 越路みのり, 吉田 良 (関西医大2外)

責任者総括

12. プロジェクト研究 (16:35~17:05)

「UC患者の癌とdysplasiaを基準に, 癌のsurveillanceを実施する」

責任者: 名倉 宏

(1) 潰瘍性大腸炎の非腫瘍粘膜のMUC5AC過剰発現

○味岡洋一, 加納恒久, 渡邊英伸 (新潟大1病理)

(2) 潰瘍性大腸炎におけるDNAメチレーションの臨床的意義

○豊田 実, 後藤 啓, 有村佳昭, 今井浩三 (札幌医大1内)

(3) 当院における潰瘍性大腸炎(UC)合併大腸癌とサーベイランスの現状

下山 孝, ○福井 信, 里見匡迪 (兵庫医大消化器内科),

池内浩基, 山村武平 (同2外), 西上隆之 (同2病理),

武田直久, 田村和朗 (同先端医学研究所家族性腫瘍部門)

(4) UC症例におけるColitic cancerのサーベイランスの適応および方法を定める

名川弘一, ○渡邊聡明 (東京大腫瘍外科), 味岡洋一 (新潟大1病理),

今井浩三 (札幌医大1内), 棟方昭博 (弘前大1内),

福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 日比紀文 (慶應内科),

杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター),

里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

(誌上発表) クロウン病に悪性腫瘍を併発した症例の検討

高添正和, 一森俊樹, 田中寅雄 (社保中央総合病院内科),

岩垂純一, 岡本欣也 (同大腸肛門病センター)

責任者総括

事務局連絡 (17:05~17:20)

懇親会 (17:30~19:00)

平成13年12月26日(水)

13. プロジェクト研究 (09:00~09:20)

「UCとCD患者のQOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者: 櫻井俊弘

(1) 潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門管吻合術症例のQOLの変化

○杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター), 橋本秀樹 (帝京大衛生学公衆衛生学),

岩男 泰 (慶應大内科), 山崎安信, 木村英明, 嶋田 紘 (横浜市大2外),

小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科)

(2) Crohn病患者のQOL - 日本語版IBDQを用いた縦断的研究

○櫻井俊弘, 松井敏幸, 八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰 (慶應大内科),

橋本秀樹 (帝京大衛生学公衆衛生学)

(誌上発表) クロウン病患者における [症状] と [栄養療法] が及ぼす心理的社会的要因とQOLへの影響

高添正和 (社保中央総合病院内科),
富田真佐子, 高崎絹子 (東京医科歯科大保健衛生学)

責任者総括

14. プロジェクト研究 (09:20～09:50)

「CD大腸病変に対する白血球除去療法を多施設の共同研究で検討し, 確立する」

責任者: 下山 孝

- (1) CDの大腸病変に対する白血球除去療法を多施設の共同研究で検討し, 確立する
下山 孝, ○澤田康史, 近野真嗣, 大西国夫, 福田能啓, 里見匡迪 (兵庫医大消化器内科),
戸澤辰雄 (同臨床病理部), 西上隆之 (同2病理), 棟方昭博 (弘前大1内), 朝倉 均 (新潟大3内),
日比紀文 (慶應大内科), 飯塚文瑛 (東京女子医大消化器内科), 鈴木康夫 (千葉大2内),
松本譽之 (大阪市大3内), 楠神和男 (名古屋大1内), 金城福則 (琉球大1内)
- (2) 活動期潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着除去療法の最適基準の考察
○鈴木康夫, 吉村直樹, 斎藤 康 (千葉大2内)

責任者総括

15. プロジェクト研究

「UCとCDの重症認定基準を見直し, 新診断基準・新治療指針を作成する」

[潰瘍性大腸炎] (09:50～10:50)

責任者: 棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎内視鏡像のチェックシートパターン解析について
藤井久男 (奈良県立医大中央内視鏡部), ○西沼 亮, 石川博文, 小山文一, 中川 正, 松本 寛,
中尾 武, 武内 卓 (同1外)
- (2) 潰瘍性大腸炎治療におけるサイクロスポリンAおよび顆粒球除去療法の位置づけ
○長沼 誠, 船越信介, 高木英恵, 新井 潤, 小池祐司, 一松 収,
岩男 泰, 石井裕正, 日比紀文 (慶應大内科)
- (3) 重症潰瘍性大腸炎に対するサイクロスポリン持続静注療法の成績と適応基準
○鈴木康夫, 吉村直樹, 斎藤 康 (千葉大2内)
- (4) プロピオン酸ベクロメタゾン注腸療法の位置付け
○茂木健太, 武井芳樹, 鮫島伸一, 澤田俊夫 (群馬県立がんセンター)
- (5) 潰瘍性大腸炎のコントロールにおけるRebamipide注腸療法の有効性
○牧山和也, 磯本 一 (長崎大光学医療診療部), 林 徳真吉 (同病理部)
- (6) 潰瘍性大腸炎(UC)に対する漢方薬の有用性
○天野國幹, 天野幹三, 久米健介, 中村恭介, 陳 俊 (広島クリニック観音)
- (7) UC重症例の治療指針(案)の検討
○棟方昭博 (弘前大1内), 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)
- (8) UC新治療指針, 重症例の治療内容を明示する
○棟方昭博 (弘前大1内)

責任者総括

[クローン病] (10:50～11:30)

責任者: 樋渡信夫

- (1) CalprotectinのIBD活動性に関する有用性の検討
○後藤 啓, 有村佳昭, 豊田 実, 今井浩三 (札幌医大1内),
栃原正博, 今村哲理 (札幌厚生病院1消化器科)

- (2) 食事内容からみたクローン病緩解維持療法としてのi-TEN法の意義
松本馨之, 中村志郎, 神野良男, 澤 禎徳, 荒川哲男 (大阪市大3内),
○藤原政嘉 (同栄養部), 北野厚生 (東住吉森本病院)
- (3) クローン病の再手術に影響を与える要因の検討
山村武平, ○池内浩基, 柳 秀憲, 野田雅史 (兵庫医大2外)
- (4) クローン病の診断基準・治療指針改訂 (案)
○樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター), 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)
- (5) クローン病のmanagement指針 (案)
○樋渡信夫 (仙台赤十字病院大腸疾患センター),
高添正和 (社保中央総合病院内科), 下山 孝 (兵庫医大消化器内科)
- (誌上発表) 右腸腰筋膿瘍を形成したクローン病の1例
飯合恒夫, 須田武保, 岡本春彦, 畠山勝義
- (誌上発表) 出血型クローン病のデスマプレシン (DDAVP) 動注療法の効果
高添正和, 一森俊樹, 田中寅雄 (社保中央総合病院内科), 牧田幸三 (同放射線科)
- 責任者総括

IV. 閉会の挨拶 (11:30)

下山 孝

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成13年度第2回總會出席者名簿

2001年12月25日・26日

(参加163名) (敬称略)

主任研究者：下山 孝

分担研究者：馬場 忠雄(滋賀医大2内), 日比 紀文(慶應大内科), 棟方 昭博(弘前大1内),
樋渡 信夫(仙台赤十字病院大腸疾患センター), 鈴木 健司(新潟大3内),
味岡 洋一(新潟大1病理), 櫻井 俊弘(福岡大筑紫病院消化器),
杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター),
牧山 和也(長崎大光学医療診療部), 金城 福則(琉球大1内),
松本 誉之(大阪市大免疫制御内科), 高添 正和(社保中央総合病院内科),
福田 能啓(兵庫医大消化器内科), 北洞 哲治(国立大蔵病院臨床研究部),
守田 則一(大腸肛門病センター高野病院), 坪内 博仁(宮崎医大2内),
八木田 旭邦(近畿大腫瘍免疫等研究所), 山村 武平(兵庫医大2外),
佐々木 巖(東北大1外), 吉岡 和彦(関西医大2外), 名倉 宏(東北大病理),
藤井 久男(奈良医大内視鏡部), 亀岡 信悟(東京女子医大2),
岡村 登(東京医科歯科大保健衛生), 古野 純典(九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員：田村 和朗(兵庫医大先端医学研究所)

他班よりの研究協力者：名川 弘一(東京大腫瘍外科), 向田 直史(金沢大がん研)

評価委員：武藤 徹一郎(癌研究所附属病院)

厚生労働省：名越 究

他：有村 佳昭, 後藤 啓(札幌医大1内), 蘆田 知史(旭川医大3内),
石黒 陽, 櫻庭 裕丈, 山形 和史, 坂本 十一(弘前大1内), 千葉 満郎(秋田大1内),
大谷 明夫, 太田 達郎, 安藤 紀昭, 沖 元 二(東北大病理形態),
橋本 明彦, 舟山 裕士, 北山 卓, 福島 浩平, 内藤 広郎(東北大生体調節外科),
辨野 義巳(理化学研究所), 尾花 伸哉, 木内 喜孝(東北大消化器形態),
澤田 俊夫, 茂木 健太(群馬県立がんセンター), 鈴木 康夫, 勝野 達郎(千葉大2内),
大和 滋, 正田 良介(国立国際医療センター消化器), 板橋 道朗(東京女子医大2外),
飯塚 文瑛(東京女子医大消化器), 千田 俊雄, 馬場 千恵美(東京医科歯科大保健衛生),
戸塚 輝治, 渡辺 守, 金井 隆典, 山崎 元美(東京医科歯科大内科),
岩男 泰, 長沼 誠, 佐藤 俊朗, 緒方 晴彦, 井上 詠, 一松 収, 小池 祐司,
芳沢 茂雄, 高石 官均, 松岡 克善(慶應大内科), 林 篤(国立大蔵病院臨床研究部),
渡邊 聡明, 畑 啓介, 佐々木 慎, 釣田 義一郎(東京大腫瘍外科),
斎藤 恵子(社保中央総合病院栄養科), 小金井 一隆(横浜市民病院外科),
朝倉 均(新潟大3内), 加納 恒久(新潟1病理), 岩谷 昭, 須田 武保, 飯合 恒夫,
早見 守仁(新潟大1外), 北村 和哉(金沢大1内), 花井 洋行, 川上 和彦(浜松大2外),
馬場 正三(浜松医大), 前川 厚子, 若井 建志(名古屋大予防医学),
佐々木 雅也, 辻川 知之, 安藤 朗(滋賀医大2内),
西沼 亮, 小山 文一(奈良医大1外), 北野 厚生(東住吉森本病院),
宮本 博行(和歌山県立赤十字血液センター), 伊藤 裕章(大阪大分子病態内科),
中村 志郎, 藤原 政嘉(大阪市大免疫制御内科), 助川 寧(近畿大腫瘍免疫等研究所),
年名 謙, 平田 一郎(大阪医大2内), 天野 国幹(広島クリニック),
池田 宣央(愛媛大3内), 沼田 政嗣, 山本章二郎, 宮田 義史, 田原 良博(宮崎医大2内),
半仁田 慎一, 豊見山 良作, 与那嶺 吉正(琉球大1内), 林 治久, 平井 亨(呉羽化学),

奥田 修(中外製薬), 島 ちかこ, 浦野 敬治, 細井 栄治, 国馬 誠一郎(日本抗体研究所),
藤井 克典, 稲場 昭喜(日清キョーリン), 湊 健仁朗, 長井 和佳子(田辺製薬),
高橋 良樹(わかもと製薬), 宮沢 盛男(三雲社), 牛山 秀彦, 城風 淳一, 柴田 博,
鎮目 泰正, 小川 重雄, 酒巻 善春, 山脇 直邦(旭メディカル),
戸頃 勝史, 半場 望未, 村田 正弘, 田中 泰弘, 中川 忠清, 福田 俊介(味の素),
梅澤 努, 後藤 英之, 早乙女 正美, 澤田 和英, 古田 和生, 中西 真人, 隅野 留理子,
高橋 敏雄, 角石 健史(味の素ファルマ)
池内 浩基(兵庫医大2外), 坂本 尚正(兵庫医大衛生), 指尾 宏子(兵庫医大遺伝),
里見 匡迪, 田村 和民, 澤田 康史, 福井 信, 堀 和敏, 山本 憲康, 日下 剛,
應田 義雄(兵庫医大消化器内科)

事務局: 宮本 佳美, 長瀬 和子(兵庫医大消化器内科)

社 会 活 動

氏 名 (所 属)	会の名称および講演演題	年・月・日	場 所
1. 下山 孝 福田 能 啓 (兵庫医大消化器内科) 高 添 正 和 (社保中央病院内科) 杉 田 昭 (横浜市大総合医療センター)	市民公開講座(クローン病)	平成13年 5月13日	神戸
2. 福田 能 啓 (兵庫医大消化器内科)	炎症性腸疾患の治療と生活節制	平成13年	竜野
3. 小坂 正 (兵庫医大消化器内科)	第35回「医療・生活・教育」相談会	平成13年 6月17日	神戸
4. 福田 能 啓 (兵庫医大消化器内科)	難病講演会：治療の進歩	平成13年 11月24日	川西
5. 福田 能 啓 (兵庫医大消化器内科)	クローン病の病気の理解と治療について・ 交流会における助言	平成13年 11月24日	高槻
6. 福井 信 (兵庫医大消化器内科)	第46回「医療・生活・教育」相談会	平成14年 1月20日	洲本
7. 里見 匡 迪 (兵庫医大消化器内科)	個別相談(潰瘍性大腸炎)	平成14年 2月18日	西宮
8. 高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患医療相談	平成13年 5月20日	西新宿
9. 高 添 正 和 (社保中央病院内科)	クローン病講演会	平成13年 5月26日	あせび会
10. 高 添 正 和 (社保中央病院内科)	クローン病友の会講演会	平成13年 6月2日	高知
11. 高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患講演会	平成13年 6月12日	東京
12. 高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患医療講演会	平成13年 7月7日	立川

13.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患	平成13年 7月9日	三鷹
14.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患医療講演会	平成13年 7月16日	松戸
15.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患医療講演会	平成13年 8月1日	板橋
16.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患講演会	平成13年 8月22日	香取
17.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	クローン病講演会	平成13年 8月25日	ひこばえ会
18.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	クローン病友の会	平成13年 9月2日	名古屋
19.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患医療講演会	平成13年 9月29日	東京
20.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患講演会	平成13年 10月1日	府中
21.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	炎症性腸疾患講演会	平成13年 10月4日	木更津
22.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	クローン病友の会講演会	平成13年 10月14日	和歌山
23.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	潰瘍性大腸炎講演会	平成13年 10月20日	神奈川
24.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	明治薬科大学市民公開講座	平成13年 11月3日	東京
25.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	岡山県クローン病友の会	平成13年 11月11日	岡山
26.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	医療相談会	平成13年 11月26日	厚木
27.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	医療相談会	平成13年 11月27日	市川

28.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	医療相談会	平成13年 12月6日	神奈川
29.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	医療相談会	平成14年 2月10日	岩手
30.	高 添 正 和 (社保中央病院内科)	東京都難病連医療相談会	平成14年 2月17日	東京
31.	松 本 誉 之 (大阪市大3内)	クローン病患者相談会	平成13年 7月1日	枚方
32.	中 村 志 郎 十 河 光 栄 (大阪市大3内)	IBD患者相談会	平成13年 9月26日	大阪
33.	松 本 誉 之 (大阪市大3内)	クローン病患者学習会	平成13年 9月27日	藤井寺
34.	澤 禎 徳 大 磯 龍 太 (大阪市大3内)	IBD患者相談会	平成13年 10月31日	大阪
35.	松 本 誉 之 川 島 大 知 (大阪市大3内)	IBD患者相談会	平成13年 11月29日	大阪
36.	押 谷 伸 英 神 野 良 男 (大阪市大3内)	IBD患者相談会	平成14年 2月1日	大阪
37.	松 本 誉 之 (大阪市大3内)	IBDの病態と治療	平成13年 12月3～7日	朝日放送 (ラジオ)
38.	金 城 福 則 (琉球1内)	難病	平成13年 11月14日	琉球新報
39.	金 城 福 則 (琉球1内)	大志を抱け	平成13年 11月28日	琉球新報
40.	牧 山 和 也 (長大光学医療診療部)	潰瘍性大腸炎の最近の治療法 及び日常生活上の留意点について	平成13年 8月29日	長崎
41.	牧 山 和 也 (長大光学医療診療部)	日本に増えている西洋病ークローン病についてー	平成13年 11月10日	NCCテレビ

42.	牧山和也 (長大光学医療診療部)	日本に増えている西洋病－潰瘍性大腸炎について－	平成13年 11月17日	NCCテレビ
43.	牧山和也 (長大光学医療診療部)	潰瘍性大腸炎について	平成14年 1月30日	長崎
44.	牧山和也 (長大光学医療診療部)	潰瘍性大腸炎の治療について	平成14年 2月9日	長崎
45.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎、クローン病の最新情報について	平成13年 6月19日	館山
46.	鈴木康夫 (千葉大2内)	消化器系難病に関する医療面、生活面についての相談指導	平成13年 7月17日	千葉
47.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎の病態治療の最新情報について	平成13年 7月31日	木更津
48.	鈴木康夫 (千葉大2内)	クローン病の病気と治療について	平成13年 8月29日	東金
49.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎の病気と治療、日常生活の過ごし方	平成13年 10月2日	茂原
50.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎の診断と治療	平成13年 10月27日	江東
51.	鈴木康夫 (千葉大2内)	消化器系難病に関する医療面、生活面についての相談指導	平成13年 11月6日	千葉
52.	鈴木康夫 (千葉大2内)	炎症性腸疾患の診断と治療のポイント	平成13年 11月9日	茂原
53.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎の治療と療養上の注意について	平成13年 12月5日	佐原
54.	鈴木康夫 (千葉大2内)	潰瘍性大腸炎の最新医療情報について	平成14年 1月22日	市原
55.	鈴木康夫 (千葉大2内)	クローン病・潰瘍性大腸炎の最新情報	平成14年 1月31日	鴨川
56.	鈴木康夫 (千葉大2内)	消化器系難病に関する医療面、生活面についての相談指導	平成14年 2月5日	千葉